

参加
無料

人工知能とコンピュータ将棋

近年、脳の神経回路を模した「ニューラルネットワーク」の技術革新により、IT企業を中心に、AI(人工知能)の実用化が進んでおり、注目を集めています。AI(人工知能)の発展において、日本では『将棋』が一つの指標として研究され、プロ棋士と切磋琢磨し、成果を上げています。本講演会では『GPS将棋』の開発者である金子知適氏(東京大学)を迎え、コンピュータ将棋、囲碁等、思考ゲームを題材としたAI(人工知能)の応用について、解説を頂きます。

日時 7月15日(金) 13:30~15:00

※講演に先立ち、部会の冒頭で2号議員の選任に関する議件がございます。

会場

丸の内二丁目ビル 3F
会議室5・6・7
(千代田区丸の内2-5-1)

定員

先着 150名



内容

- (1) 議件 定款第36条第2項第2号の規定による議員の選任について
- (2) 講演 「人工知能とコンピュータ将棋」



ご講演者

東京大学大学院 情報学環／総合文化研究科 准教授 **金子 知適 氏**

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。同大学大学院総合文化研究科助手、助教、准教授を経て、2015年より現職を務める。情報処理学会、人工知能学会、日本ソフトウェア科学会、ACM、コンピュータ将棋協会、各会員。2003年頃より、オープンソースの将棋プログラムであるGPS将棋の開発に参加。共著に『人間に勝つコンピュータ将棋の作り方』(技術評論社)、『コンピュータ将棋の進歩6』(共立出版)

サービス部会主催講演会 参加申込 FAX 03-3211-8278

事業所名			住所		
業種			会員	・	非会員 (いずれかに○)
TEL:	FAX:		Email:		
参加者①	氏名:			役職:	
参加者②	氏名:			役職:	

※参加券は発行いたしません。当日受付にてお名刺を申し受けますのでご了承ください。
※ご記入いただいた情報は、本講演会の運営事務のために使用すると同時に、参加者名簿作成および当所からの各種情報提供に使用させていただく場合がございます。